

NEW

RemoteMeeting サービスリニューアル 説明資料

よりシンプルで、よりパワフルな
Web会議体験を。

 RemoteMeeting



01.

コアレイアウトおよび表示モードの変更

複雑さを取り除き、直感性を向上

As-is

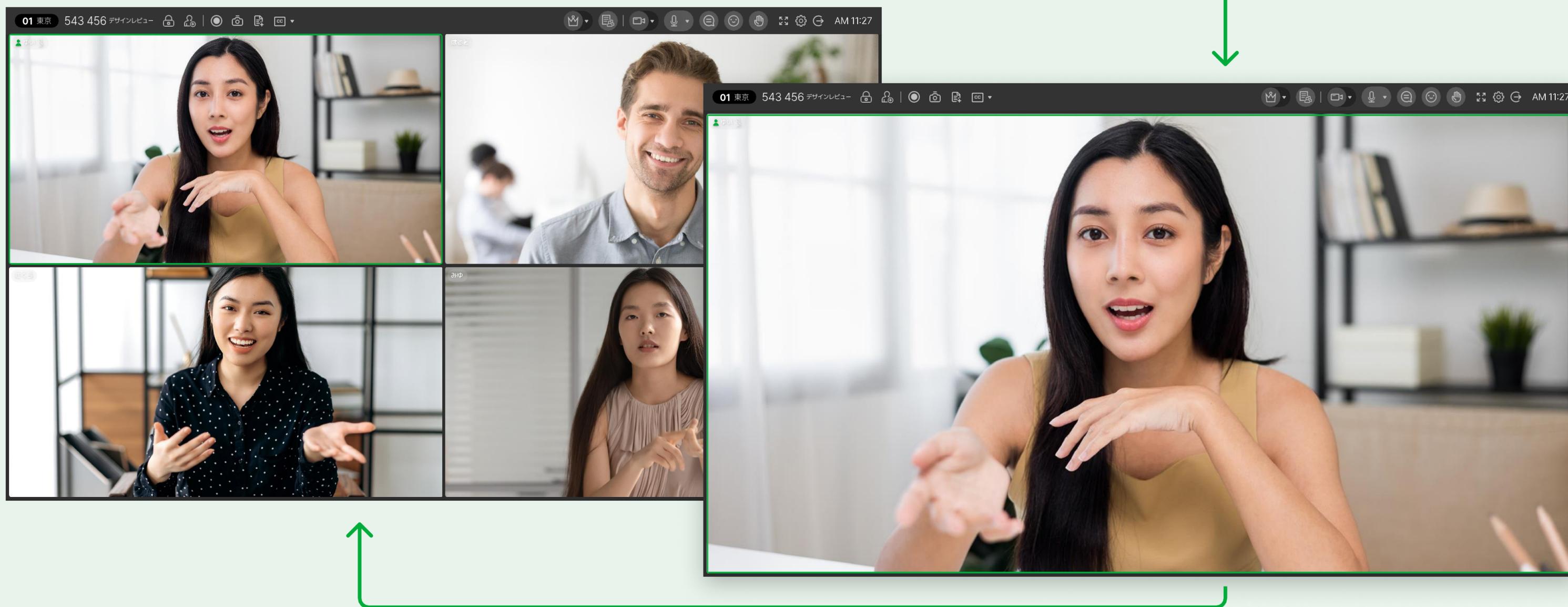
- モード選択（主話者／分割／強調）が複雑で分かりにくい
- 多くのユーザーが分割モードのみを使用
- 他社製品との一貫性が不足
- 最大参加人数：100名まで

To-be

- ユーザー体験の簡素化：モード選択なしで直感的な分割画
- 柔軟な画面強調：ピン機能で最大4名を同時に強調表示
- 拡張性：300名以上の大規模参加も可能
(今後、料金プランと連携予定)

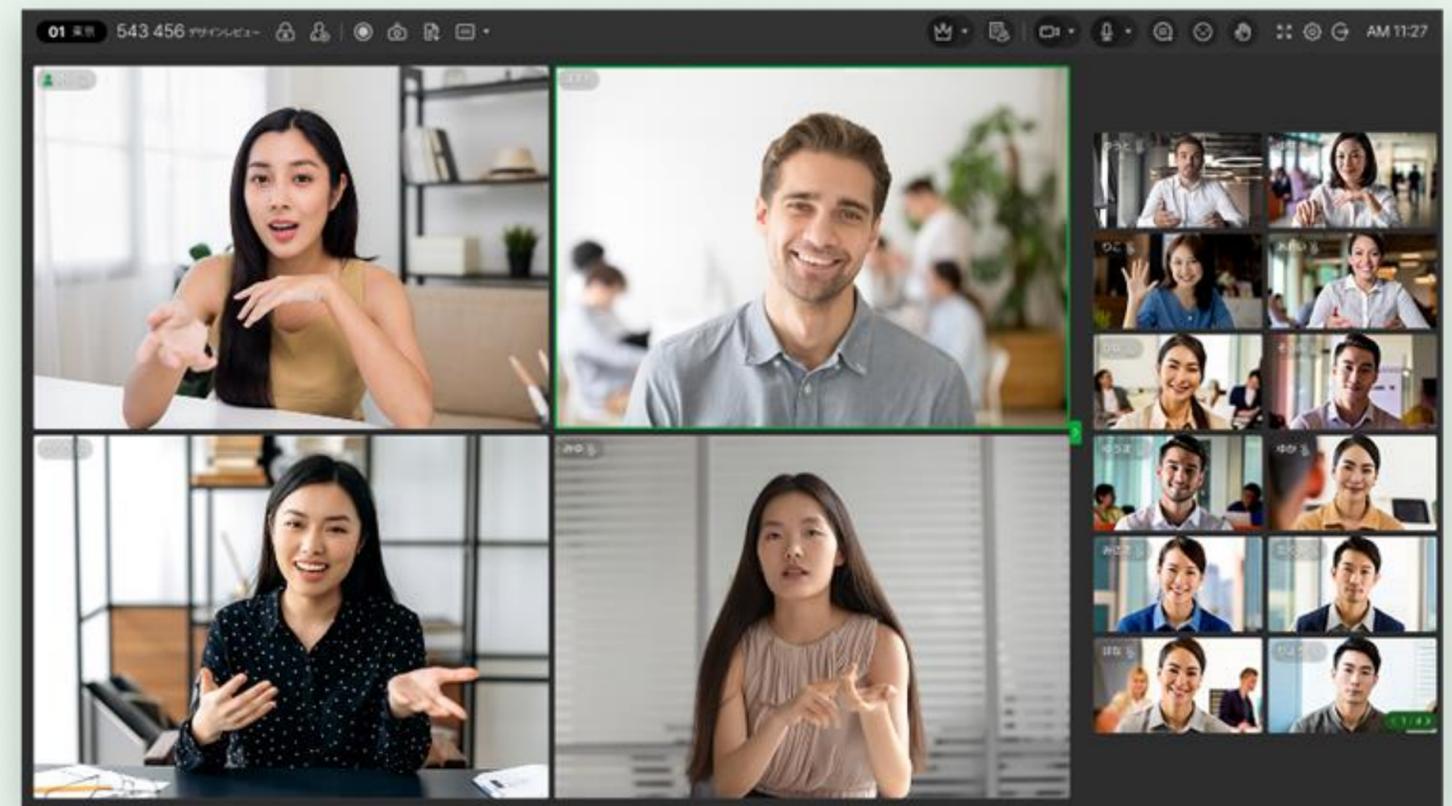
01. コアレイアウトおよび表示モードの変更

- デフォルトで分割表示を提供
- ワンクリックでPiPの拡大・縮小



01. コアレイアウトおよび表示モードの変更

- 柔軟な画面強調（最大4名を同時に強調表示）
- 1ページ25名表示で、300名以上の大規模な会議にも対応



02.

共有およびコラボレーション機能の強化

統合された共有体験と
発表者への集中度を向上

As-is

- 画面共有と資料共有が分離
- 複数の発表者が同時に発表可能
- 基本的なリモート操作機能を提供
- 基本的な描画ツール機能を提供

To-be

- 共有トレイへ統合
- 発表者は1名に制限
- リモート操作はRemoteCallを連携し別途提供予定
- 描画ツールの速度および機能を大幅に改善

02. コアレイアウトおよび表示モードの変更

発表終了後も保持される共有ファイル

- ・ 発表終了後も画面／資料は共有トレイに保持
- ・ ホワイトボードのみ初期化
- ・ 個別表示と全体表示の切り替えが可能
- ・ オフラインの発表体験をオンラインで再現

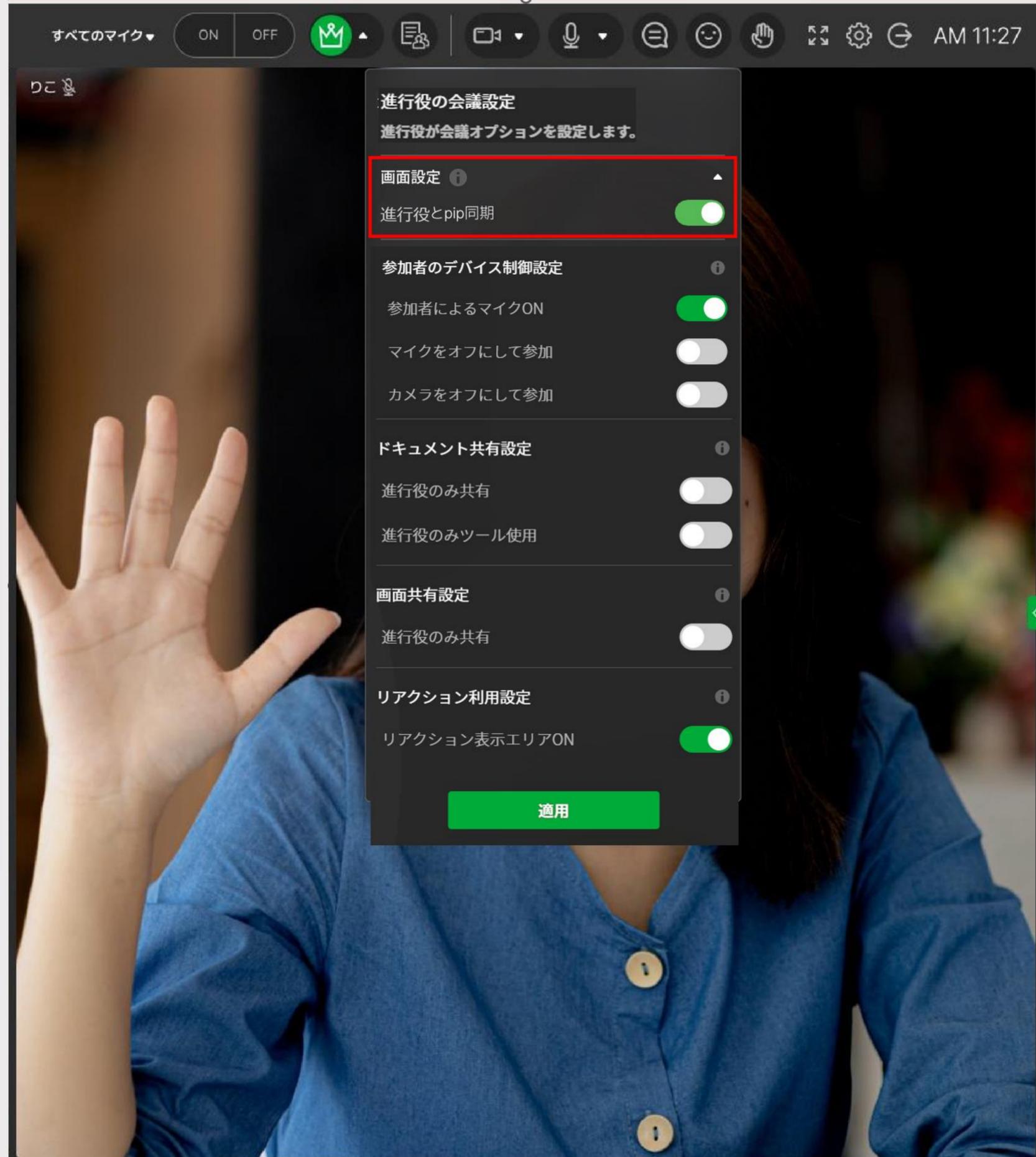


03. 進行役の制御権限の強化

会議の主導権を進行役へ

画面同期機能

- 進行役が見ている画面レイアウトを参加者の画面に強制同期
- 参加者のピン固定、PiPなどの個別カスタマイズ機能を制限
- 統一された視点で会議への集中度を向上



04.

待機室機能

セキュリティと
より専門的な会議環境を実現



セキュリティとプライバシー

- 招待されていない外部ユーザーの参加を防止
- ホストの承認後に入室可能



会議進行の効率化

- ホストの準備時間を確保
- 「すべて許可」で一括入室
- 遅れて参加するユーザーの管理が可能

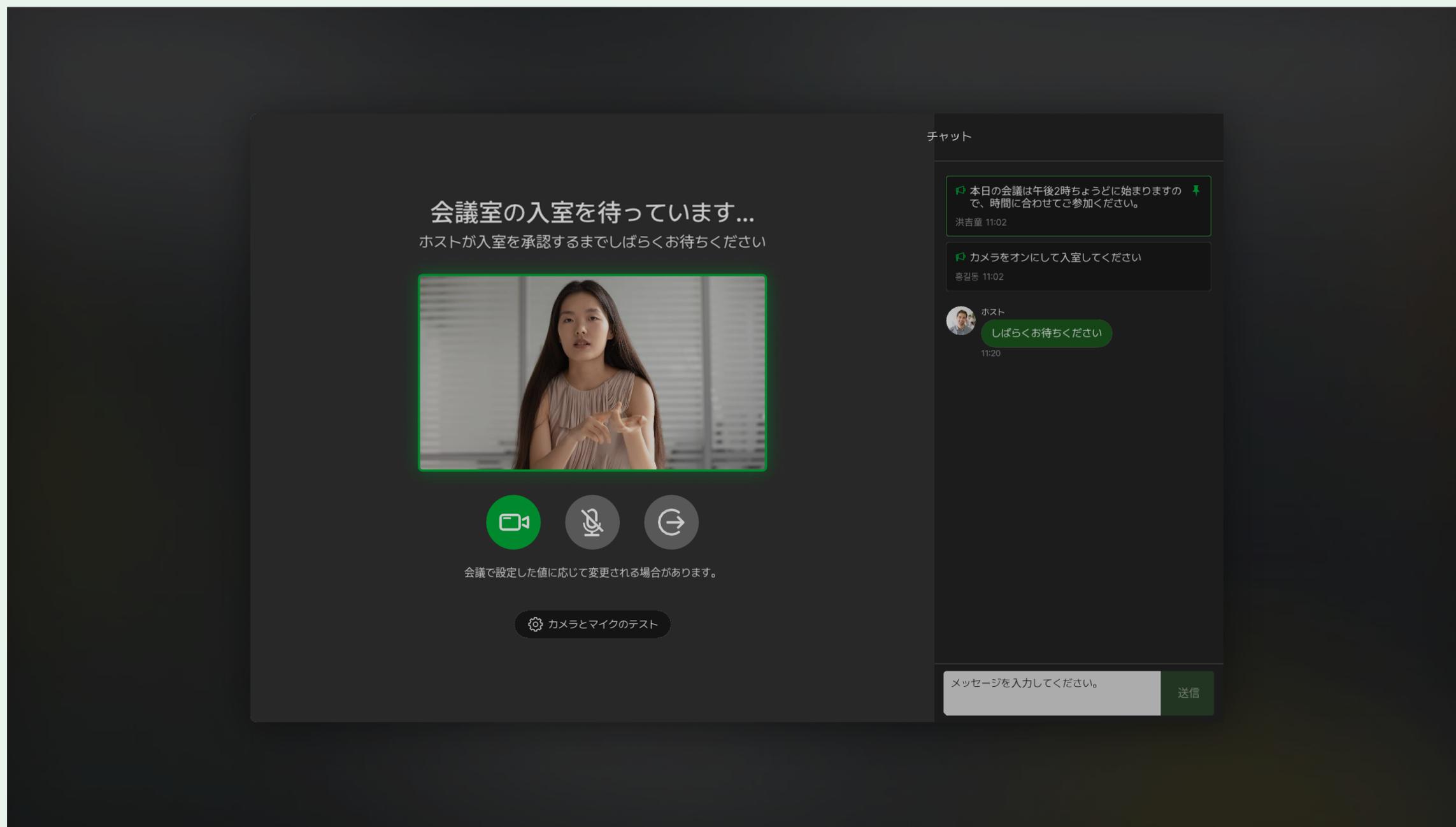


より専門的な環境の構築

- 教育、面接、オンライン診療など相談／対応の待機サポート
- ホスト中心の統制された会議運営
- 待機室による参加者管理でセキュリティ向上

04. 待機室機能

セキュリティとより専門的な会議環境の実現



05.

新機能追加および主要機能の改善

AIと利便性で
より完成度の高い会議体験へ

PIPモード

別のウィンドウへ移動すると、自動で小さな映像を表示

AI要約配信

会議終了後、構造化された要約をメールで送信

リアルタイム字幕

ブラウザの言語設定またはユーザー選択に対応

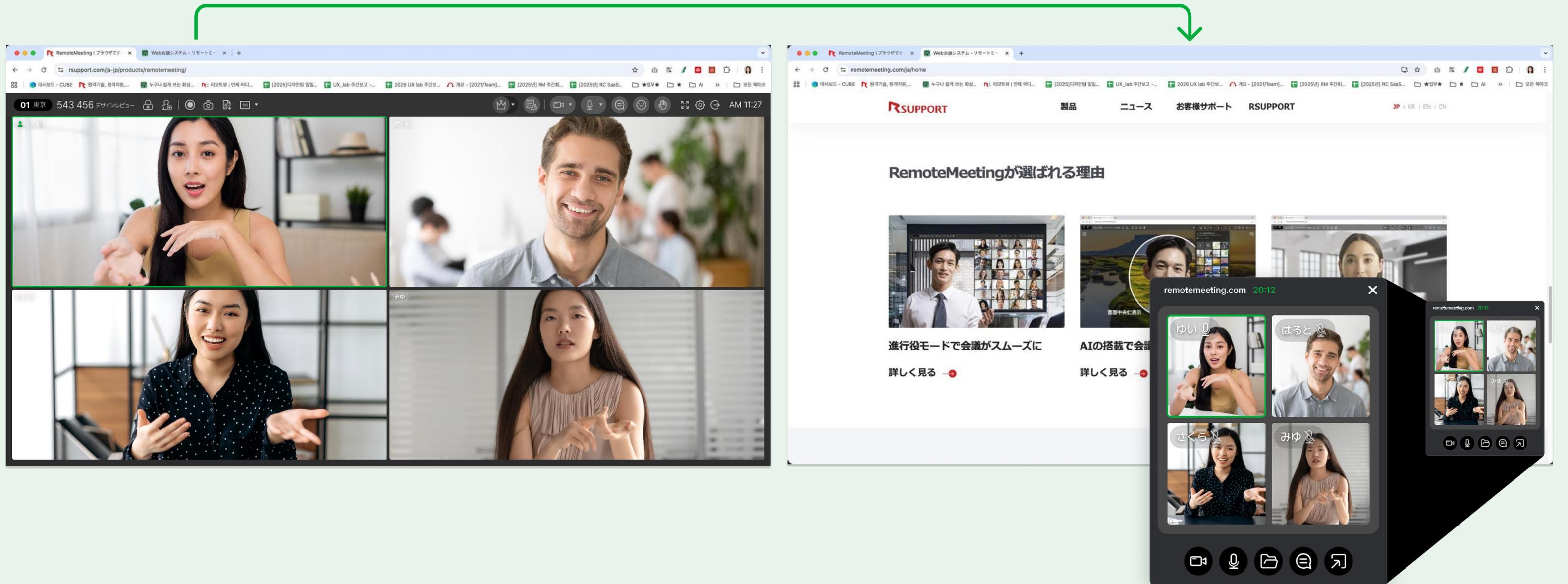
チャットUX

横からスライド表示されるUIへ改善

05. 新機能追加および主要機能改善

PIPモード

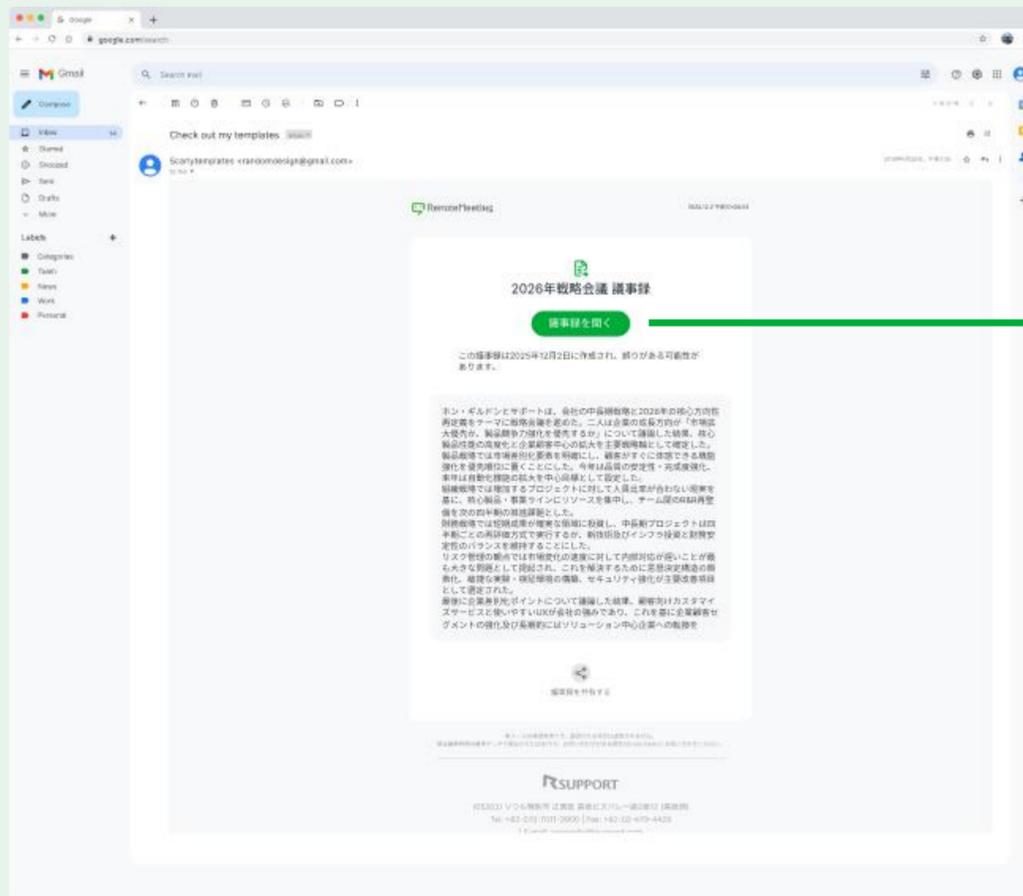
別のウィンドウへ移動すると、
自動で小さな映像（PiP）を表示



05. 新機能追加および主要機能改善

AI要約の配信

会議終了後、
精度の高い議事録要約をメールで送信



2026年 戦略会議 議事録

2025年12月2日 10:03

要約版 スクリプト

要約

ホン・ギルドンとサポートは、会社の中長期戦略と2026年の核心方向性の再定義をテーマに戦略会議を行った。二人は企業の成長方向が「市場拡大優先が、製品競争力強化を優先するか」について議論した結果、核心製品の性能高度化と企業顧客中心の拡大を主要戦略軸として確定した。

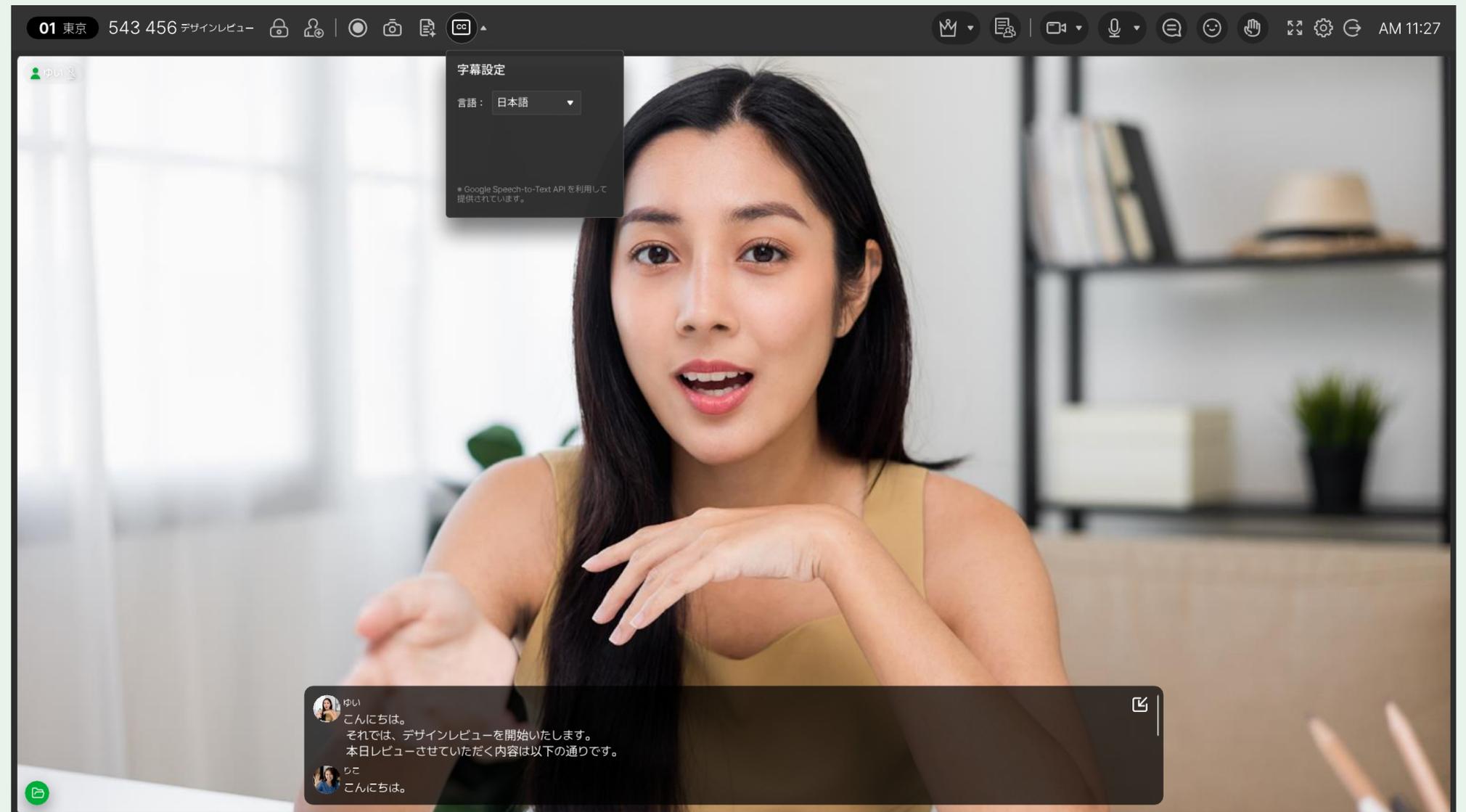
詳細内容

- 1. 企業ビジョン及び中長期戦略 (00:01:10)**
 - ・ 会社の今後3年ビジョンを再定義する必要性について議論
 - ・ 市場拡大 vs. 製品競争力強化のどちらを優先するか検討
 - ・ 結論:
 - 核心製品の性能高度化
 - 企業顧客中心の拡大戦略
 - ・ 組織構成もこの方向性に合わせて調整することに合意
- 2. 製品戦略 (00:02:40)**
 - ・ 市場での明確な差別化ポイントの確保が必要
 - ・ 競合他社に対する優位要素及び顧客実感機能中心の優先順位設定
 - ・ 年度別戦略方向
 - ・ 2026年: 品質の安定性及び完成度強化
 - ・ 2027年: 自動化機能の拡大
 - ・ 企業顧客向け管理機能・報告機能強化の必要性
- 3. 組織及び運営戦略 (00:04:05)**
 - ・ プロジェクト増加に対する人員比率の不均衡問題を確認
 - ・ 戦略的製品/事業群に人員を集中配置する必要
 - ・ チーム間の役割と責任(R&R)再整備作業を次の四半期に進行
 - ・ コミュニケーション体系の改善必要性が提起される
- 4. 財務及び投資戦略 (00:05:25)**
 - ・ 短期成果と長期投資のバランスが鍵
 - ・ 新技術・インフラ投資の必要性を認める
 - ・ 投資戦略:
 - 短期的成果中心の領域に優先投資
 - 中長期プロジェクトは四半期ごとの再評価体系を適用
 - ・ 財務安定性の維持を並行して行う
- 5. リスク管理 (00:06:40)**
 - ・ 最も大きなリスク:
 - 市場変化の速度に対する内部対応速度の不足
 - ・ 改善方向:
 - 意思決定過程の簡素化
 - 迅速な実験及び検証文化の構築
 - セキュリティ・トラフィック増加に対する技術インフラの強化
 - ・ セキュリティ強化は今年の必須課題として指定
- 6. 差別化戦略 (00:08:00)**
 - ・ 会社の強み:
 - 顧客向けサービス
 - 使いやすいUI/UX
 - ・ 企業顧客セグメント強化戦略について議論
 - ・ 長期的には製品中心 → ソリューション中心企業への転換を検討
 - ・ 今後の戦略文書に反映することに決定
- 7. 会議のまとめ (00:09:10)**
 - ・ 今日議論された内容を戦略文書に整理
 - ・ 来週実行計画の検討会議予定
 - ・ 会議終了

05. 新機能追加および主要機能改善

リアルタイム字幕

ブラウザの言語設定、
またはユーザー選択の言語に対応

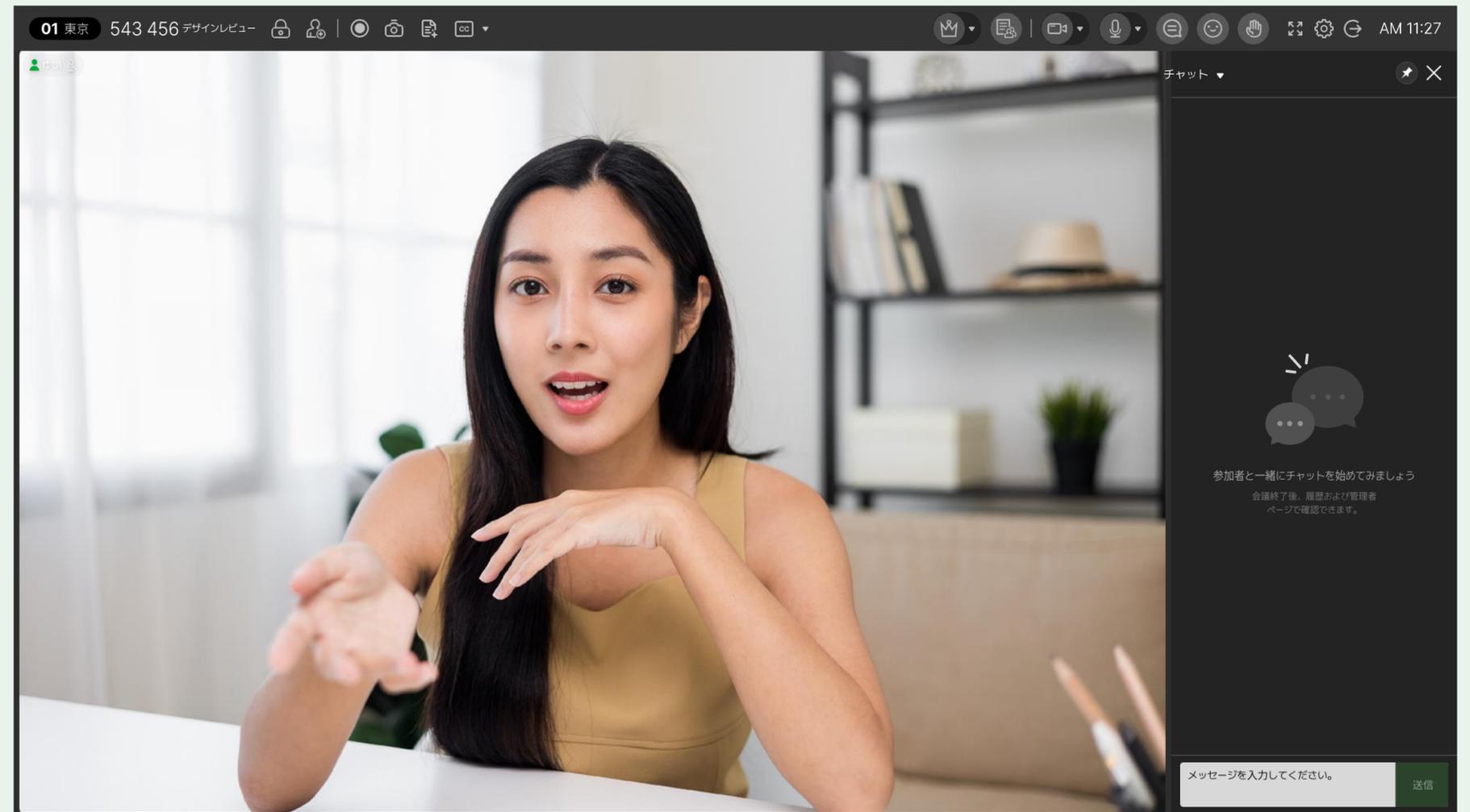


05. 新機能追加および主要機能改善

チャットUX

従来：チャットウィンドウが表示されると
表示されている映像の一部を遮る

改善：映像の一部を遮らないように、映像領域が
横からスライド表示されるUXを適用
(ピン固定により、
従来の表示方式も選択可能)



06.

廃止される機能

構造の刷新と最適化のための
機能整理

モード選択UI ^{*1}

アバター

ささやき（ウィスパー）機能

リモート操作

*1：ラウンジで新規会議を開始する際の「ドキュメント共有」「画面共有モード」、会議中の「画面表示モード：スポットライト、カスタムモード」を指します。

07.

期待される効果と最終目標

「真の会議専用ツール」への進化

期待される効果

- 「真の会議専用ツール」への進化
- AIによる会議支援
自動要約、リアルタイム字幕
- 拡張された参加規模
300名以上の参加に対応
- セキュリティと柔軟な管理
待機室ベースのセキュリティ強化
- 強化された司会者権限
司会者によるPiP同期